

学んでみよう「補聴システム」

補聴器マイスター診断

補聴器のことをどのくらい知っていますか？ チェック！

(あてはまるものにチェックをいれて下さい。)

- 1. あなたの補聴器のスイッチ、ボリュームはどこにあるかわかりますか。
- 2. あなたの補聴器のブランド名を知っていますか
- 3. あなたの補聴器の電池の型番を知っていますか (PR-〇〇)
- 4. 今、使用している補聴器はいつ購入したのか覚えていますか。
- 5. うるさいところなど必要に応じてボリュームの調整をしていますか。
- 6. 補聴器は、水、衝撃、高温にとっても弱いことを知っていますか。
- 7. ハウリングという言葉を知っていますか  
知っている人はどのような状況か記入して下さい ( )
- 8. ノイズキャンセラー (ノイズリダクション) という言葉を知っていますか。
- 9. 補聴器の音がいつもと違うことに気付きますか。  
気付いた人はどのような状況か記入して下さい ( )
- 10. いつも修理に出すお店を確保していますか。

### 1 の解説

補聴器の筐体は、電源の ON/OFF スイッチ(電池BOX式のものも含む)だけでなく、チャンネル切替（会話モード、音楽モード、Tーコイルなど）のスイッチ、ボリュームダイヤルなどが装着されています。これらを理解することによって、より有効に補聴器を使いこなすことができます。もし、わからない場合は補聴器の説明書を見るか、補聴器販売店の人に問い合わせして下さい。

### 2 の解説

補聴器のブランドとは、例えばテレビで言えばシャープ、ソニー、パナソニックです。補聴器は、リオン、フォナック、オーティコン、ワイデックス、スターキー、ベルトーン、バーナフォン、ユニトロンなどがあります。これを知っておくことによって、修理等をお願いできるお店を簡単に探すことができます。

### 3 の解説

補聴器の電池は、空気亜鉛電池が用いられています。空気亜鉛電池には、プラスの側にシールが貼ってあります。シールをはがすとそこに小さな空気孔があり、この孔によって電池の中の亜鉛と空気中の酸素が少しずつ反応して電気を作ります。

種類	シールの色	補聴器の型
PR538(10A)	黄色	CIC (耳あな型)
PR41(312)	茶色	ITC (耳あな型) マイクロサイズ 耳かけ型
PR48(13)	オレンジ色	ITE (耳あな型) ミニサイズ 耳かけ型
PR44(675)	青色	フルサイズ 耳かけ型

電池によっては PR44P または PR48P という型番の物もあります。この P はパワータイプ（高出力タイプ）補聴器対応を意味します。

### 4 の解説

補聴器の耐用年数は様々ですがおおよそ 5～6 年とも言われています。福祉対象になるのも前回の購入から 5 年以降となっています。故障がなくても、5 年たったなら 1 年に 1 回程度は点検を受けましょう。また、5 年以内に修理不能の破損の場合でも、前回の購入より 5 年以上経過しないと福祉対象にならないのでご注意ください。そのため、補聴器をいつ購入したか把握しておきましょう。

## 5の解説

補聴器には必要以上に音が大きくならないように、出力制限がかかっていますが、それでもうるさい音があります。うるさいと思ったら我慢せず、ボリュームと下げて耳をいたわりましょう。そのままにしますとさらに聴力が低下し、以前よりきこえにくくなる可能性があります。

## 6の解説

### ○水に弱い

汗、雨降り、洗濯機の中に入れてしまう、補聴器を着けたままお風呂に入ってしまうなどすると、補聴器の内部部品が錆びるなど故障の原因となります。最近の補聴器は、筐体に撥水機能のある材質を用いているもの、また、汗(水分)の侵入の原因となるボリューム、チャンネル切り替えスイッチを廃止し、リモコンに置き換えるなど工夫されてきています。

### ○衝撃に弱い

補聴器は、非常に精密な機械なので強い衝撃で壊れてしまうことがあります。コンクリートなど硬いものの上に落とさないように十分注意しましょう。

### ○高温・低温に弱い

補聴器は熱に弱いので、ストーブや自動車のダッシュボードなど高温になるところには置かないようにして下さい。また気温が低いところから暖かいところに戻すとチューブなどに結露が生じます。そのような場合は、乾燥剤の入った場所でゆっくりと室温に戻して下さい。

## 7の解説

ハウリングは、音響的フィードバックとも言われ、一度補聴器によって増幅された音がイヤモールドから漏れ、再度マイクロホンに入ることによってピーピーと鳴ることです。ハウリング音の周波数は、その補聴器の出力のピークにあたる周波数と一致します。およそ 1500Hz～2000Hz の範囲です。以前(アナログ補聴器)はイヤモールドを作り直す必要がありましたが、現在のデジタル補聴器にはハウリングキャンセラーの機能がついており、コンピュータによるフィッティングの際、調整ができます。

## 8の解説

ノイズキャンセラー(ノイズリダクション)は、会話に悪影響を及ぼす可能性のある雑音をそぎ落とし、会話を聞き取りやすくする機能です。方法としては2つあります。

- ①会話と関係ない周波数帯域(高さ)にある雑音を抑制する。
- ②会話と関係ない方向からの雑音を抑制する。

## 9 の解説

補聴器の調子が悪いことは以下のことが考えられます。

### ① が全くでない、音が小さい

まず、電池が切れている、電池のパワーが弱っていることが考えられます。電池をチェックしてみてください。またイヤモールドの音孔が耳垢、結露などで詰まってしまっていることも原因としてあります。その際、掃除してみてください。

### ② 音や声に変に聞こえたり、ひずんだりする。

補聴器の内部の異常、例えばマイクロホンやスピーカーの劣化、IC チップの不具合、接続不良などの可能性があります。補聴器店に相談して下さい（特に汗が入った時に多いです）。

### ③ 補聴器からピーピーと音がする。

イヤモールドが合わなくなっている、チューブ、フックが破損している、または補聴器の内部回路の異常も考えられます。補聴器店に相談して下さい。

## 10 の解説

補聴器店を選ぶポイントを上げておきます。

### ① 利益優先になっていない。

高い補聴器であれば何でも良く聞こえるというような説明をしていないか、安売りをうたっていないか、店の中に売上目標が貼っていないかという点に注意しましょう。これらの項目が一つでもあると要注意です。

### ② 知識と技術がしっかりとしている。

ユーザーのニーズ（聞こえ方など）にしっかりと耳を傾け、とことんつきあってくれるかどうかポイントです。

### ③ アフターサービスがしっかりとしている。

聴力変動が生じて再調整が必要な時でもしっかりと対応してくれることがポイントです。

### ④ 簡単な点検や修理に即座に対応できる。

### ⑤ よく売れている。

補聴器をたくさん取り扱っている店にはメーカーからの情報も自然に入ってきます。また、たくさん扱わないと経験が身に付きません。お客さんの数が多いことはそれだけ経験も豊富で技術も身につけているということです。

## 認定補聴器専門店

この認定を受けるためには以下のことを満たしている必要があります。

- 店舗に認定補聴器技能者が常勤していること
- 店舗が利用者の相談への対応や必要な測定、調整、フィッティングを行うのに適切な作りになっていること。
- 補聴器の相談医との連携があること。

よい補聴器店を選ぶには、耳鼻咽喉科医（補聴器キーパーソンなど）から紹介してもらうのが最もよい方法です。

（\* 10 の解説については、関谷芳正：よくわかる補聴器選び 2012 年版 八重洲出版より参考・引用した。）

### 補聴器の修理について

補聴器の修理は、その補聴器が保証期間内（購入から 2 年以内が多い）か、または自費で修理する場合について、今居住している近くの補聴器店に依頼することが可能です。

但し、**福祉補助による修理**は、住民票を今の居住地に移動してあったとしても就労し、その居住地の自治体に税金を納めていないと申請することができません。

例 1 静岡県静岡市出身で、つくば市の大学に進学した補聴器を使用している聴覚障害学生の場合。

↓  
近隣の補聴器センターに福祉補助での修理は**依頼できない**。

↓  
静岡市の補聴器センターに依頼する。

例 2 茨城県水戸市出身で、つくば市の大学に進学した補聴器を使用している聴覚障害学生の場合

↓  
近隣の補聴器センターに福祉補助での修理は**依頼できる**  
（その学生を扶養している家族（例えば父親）が自治体（同じ県内）に税金を納めている地域の補聴器センターは可）

このように福祉補助を申請する県が異なると、補聴器販売店としては、売買契約の確認、修理契約、決済に時間がかかるなど手続きが煩雑になり業務上困難となることが多いため、お断りしていることが多いようです。

但し、補聴器を購入するにあたって福祉補助を利用する場合は、売買契約の確認などの手続きがないため、県が異なっても柔軟に対応できる場合があるそうです。